

施策23 都市機能の向上

施策の目指す姿

駅の周辺地区に、住宅や商業・業務機能などが集積することにより、まちが活性化し、市民が安全で利便性のよい生活を送っています。また、各地域では、人口減少や高齢化が進行するなかにあっても、地域コミュニティ機能が持続するとともに、日常の商業・福祉などの生活サービスが提供されています。

施策の現状

本市では、狭山市駅周辺地区を市の中枢拠点とし、また、入曽駅、新狭山駅、稻荷山公園駅の周辺地区を地域拠点として位置付け、それぞれの地域にふさわしい基盤整備や地域環境の向上に取り組んでいます。

狭山市駅西口周辺地区については、市街地再開発事業などの整備により、駅前広場や市民広場などが完成し、狭山市駅周辺の活性化とにぎわいづくりに寄与しています。

狭山市駅東口地区については、土地区画整理事業が完了し、新たな土地利用により駅周辺の更なる活性化が進んでいます。

入曽駅周辺地区については、入間小学校跡地及び取得した土地等の有効利用を図りながら、入曽駅周辺における交通対策などの地域課題を解決していくため、平成30年4月に入曽駅周辺整備事業の基本計画を策定し、駅周辺の整備に取り組んでいます。

稻荷山公園駅周辺地区については、博物館などの公共施設が整備されていますが、残された国有地についても、稻荷山公園駅周辺基地跡地利用計画に基づき、検討を進めており、平成29年度に稻荷山公園東側の留保地の一部（1.2ha）を取得しました。

新狭山駅周辺地区については、土地区画整理事業や都市計画道路整備などにより市街地の基盤が整っています。

また、駅周辺以外の地域においては、各地区センター等が地域住民の交流などの場になっており、各種店舗などの立地により、地区住民の日常生活における利便性の向上が図られています。

施策の課題

- 人口減少や高齢社会に対応したまちづくりを進めていくことが必要です。

主なとりくみ

(1) 中枢拠点の整備

- 狭山市駅西口周辺地区については、更に安全で利便性が高くにぎわいのある中心市街地の形成を実現するため、狭山市駅周辺地区から入間川に至る空間を連続的に捉え、回遊性のある都市空間の形成を推進します。
- 狭山市駅周辺の土地利用転換構想地区については、駅から徒歩圏内である立地を活かして、本市の中枢拠点整備を拡充していく上での土地利用転換を推進します。

(2) 地域拠点の整備

- 入曽駅周辺地区については、現在進めている入曽駅周辺整備事業を完成させ、市南部の地域拠点として安全で利便性の高いまちづくりを推進します。
- 稲荷山公園駅周辺については、稲荷山公園駅周辺基地跡地利用計画に基づき、基地跡地の有効活用や道路整備などを進め、都市機能を高めます。
- 新狭山駅周辺地区については、良好な都市環境の維持保全に努めます。

(3) 各地域の整備

- 駅周辺以外の各地域については、地域の特性を活かしながら、そこに居住する市民の日常生活が健全に営まれるように、コミュニティの維持保全に努めます。

施策の成果目標

項目	実績値	目標値
	令和元年度	令和7年度
狭山市駅周辺における5階建て以上の建築物の着工件数（入間川1・2・3丁目、祇園における着工件数）（平成26年度以降の累計）	12件	24件

市民・団体・事業者などに期待する協働による行動

- 狭山市駅周辺地区の公共公益施設を有効に活用しましょう。
- 駅を中心としたまちづくりへの理解を深めましょう。

関連するSDGsのゴール

- ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ゴール11 住み続けられるまちづくりを
- ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう

